

警戒レベル判断指標等の状況（令和4年11月30日適用）

		令和5年5月7日時点		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	
				感染小床期	感染拡大初期	医療負荷増大期	医療機能不全期	
判断指標	①	病床使用率【国基準】 (入院中/最終フェーズ確保病床数)	19.4 %	125 / 645	30%以下	50%以下	50%超	80%超
	②	重症者用病床使用率【国基準】 (重症者(国基準)/重症者用確保病床数)	2.2 %	1 / 46	30%以下	50%以下	50%超	80%超
関係指標	①	重症者用病床使用率【県基準】 (重症者(県基準)/確保済重症用病床数)	0.0 %					
	②	前週比 (直近1週間の新規陽性者数 前週/今週)	1.07 倍					
	③	新規陽性者数 ※人口10万人当たり/人 (直近1週間合計)	102.07 人					

※1 判断指標①病床使用率【国基準】は、確保病床入院者数/最終フェーズにおいて、県が即応病床として確保することを計画する病床数で算出（「最終フェーズ病床数」とは、一般医療と両立が可能な最大限の確保病床数のこと。）

※2 国基準の「重症者」とは、厚生労働省の重症者基準に基づき、集中治療室(ICU, HCU)入院者を全て重症者として算定した数値である。

※3 県基準の「重症者」とは、ECMOでの治療が必要など重症者の患者のみで算定した数値である。

※4 沖縄県警戒レベル判断に当たっては、上記において設定した指標が目安を超えた場合に機械的に判断するのではなく、保健医療の負荷の状況、社会経済活動の状況及び感染状況に関する事象等を十分に勘案し、必要に応じて実情等を把握している専門家等の意見も参考にしつつ、総合的に判断することとする。